

FieldView を起動後、

[File] – [Data Input] – [FV-UNS] サンプルデータの  
“sample.uns” を指定

[Tools] – [Execute FVX Files..] –  
“FAQ\_FF048\_Random\_Seeding\_Sphere.FVX” を指定

ご利用の解析対象によって、上記 FVX を加筆修正ください。

## 球体領域に流線開放点をランダム配置

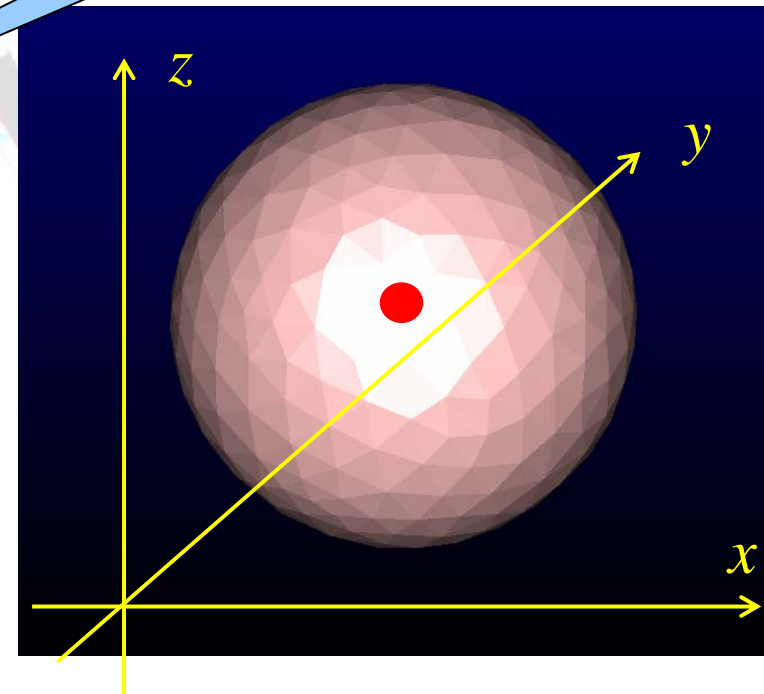
FIELDVIEW

```
-----  
--- main program  
-----  
  
print ("----- FVX random_seed -----")  
  
seed_num=100  
radius=7.0985e-3  
  
center={} ----- center of sphere  
center={  
    x=0.0208608,  
    y=0.0115894,  
    z=0.0127,}
```

配置する 開放点数

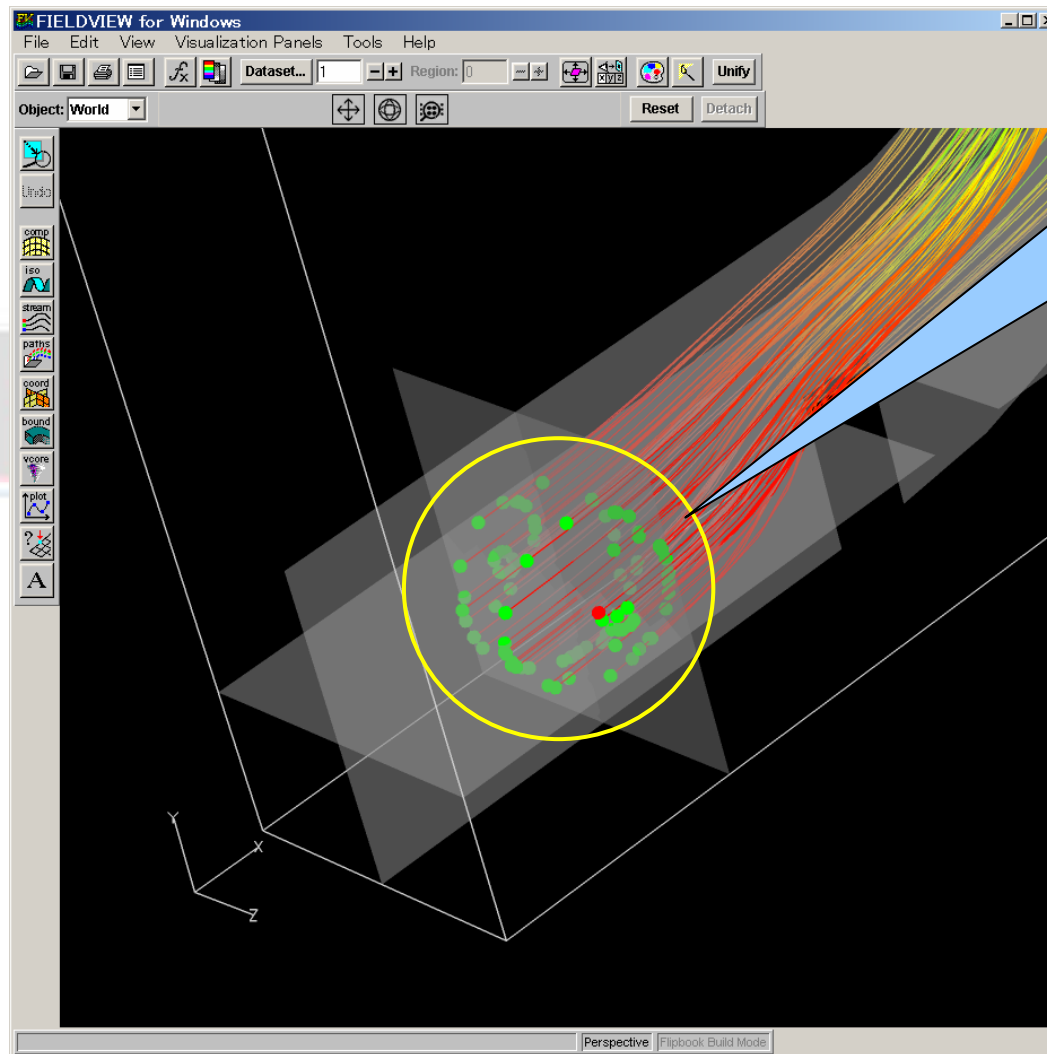
球体半径

球体中心座標



## 球体領域に流線開放点をランダム配置

FIELDVIEW



このサンプル図は球面上にランダム配置したものです。

プログラム 82 行目付近の変数 R を  
“R = radius” に変更することで  
対応できます。

このサンプル図は  
球体内にランダム配置  
したものです。

